

予算決算委員会第1分科会 所管事務調査テーマ一覧

討論テーマ	本市財政の持続可能性と事業・サービスとの調和について～市民が事業・サービスを選択しうる舞台づくり
具体的テーマ名	財政健全化（財政分析）
関係する政策分野（市総合計画）	42 財政基盤
(1)テーマ設定の背景・課題認識	平成15年度に危機的な財政状況に直面したこと受け、行財政再建プログラムが策定され、大型事業等の優先順位の見直し要請や市債残高への不安、本市財政の持続可能性への疑問などの市民意見について、議会の視点や尺度で財政状況の解明・説明に努めていく必要がある。
(2)今期における調査目的・目標	毎年度、国の「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」と本市中期財政見通し等を踏まえて、実質公債費比率と投資的経費とのバランスや財政調整基金の推移等の財政指標を確認するとともに、専門的知見を活用した定点チェックを継続する。
(3)具体的調査手法（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財政分析の資料を作成するとともに、専門的な講師を招いてセミナーを開催。 ・ 関連議案の審査時における抽出論点による集中審議。

討論テーマ	本市財政の持続可能性と事業・サービスとの調和について～市民が事業・サービスを選択しうる舞台づくり
具体的テーマ名	財政健全化（公共施設マネジメント）
関係する政策分野（市総合計画）	40 公共施設
(1)テーマ設定の背景・課題認識	本市の公共施設の多くが老朽化しており、施設の建替えには多額の費用がかかることから、財政健全化の観点から、公共施設を総合的に効率良く整備、有効活用していく公共施設マネジメントの取組を調査研究をする必要がある。また、土地などの市有財産の有効活用について調査研究する必要がある。
(2)今期における調査目的・目標	令和8年度に改定予定の公共施設等総合管理計画とその個別計画である公共施設保全計画、公共施設再編プランを踏まえ、新庁舎整備に伴う大規模な公共施設機能の再編や鶴ヶ城周辺の公共施設の再編などが見込まれる中で、全体的な視点から施設再編が行われるのかを調査研究していく。また、普通財産及び行政財産における「土地」の管理運営については、継続して執行機関の取組を精査し、調査研究していく。
(3)具体的調査手法（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設マネジメントを推進している先進自治体の調査。 ・ 関連議案の審査時における抽出論点による集中審議。

討論テーマ	本市財政の持続可能性と事業・サービスとの調和について～市民が事業・サービスを選択しうる舞台づくり
具体的テーマ名	住民自治（地域公共交通）
関係する政策分野（市総合計画）	31 公共交通
(1)テーマ設定の背景・課題認識	持続可能な移動手段の確保や公共交通の利便性の向上、市地域公共交通計画等を踏まえた高齢者、高校生、観光客等のための公共交通の利用促進など、まちづくりと地域公共交通の在り方について調査研究をしていく必要がある。
(2)今期における調査目的・目標	利用方法の周知など地域公共交通の利用者数の増加に向けた取組や収支率などから持続可能な公共交通の在り方について調査研究をする。また、小・中学生を対象とした通学定期券の導入に向けて、執行機関の取組を注視していく。
(3)具体的調査手法（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な公共交通の運営や利便性の向上を図っている先進自治体の調査。 ・ 関連議案の審査時における抽出論点による集中審議。

予算決算委員会第1分科会 所管事務調査テーマ一覧

討論テーマ	行政サービス提供機能のあり方と庁舎等整備の方向性について
具体的テーマ名	住民自治（自治基本条例）
関係する政策分野（市総合計画）	41 行政運営
(1)テーマ設定の背景・課題認識	自治基本条例に基づく市民が主体となって地域の実情に合った、より良いまちづくりを実現し、行政運営の透明性向上と質の確保を図っていく必要がある。
(2)今期における調査目的・目標	地域主体のまちづくりを更に進めていく上でも、地域団体や地域おこし協力隊、集落支援員、中間支援組織、市のそれぞれの役割を明確にするなど、自治基本条例に基づくまちづくりの制度設計を整えていく。
(3)具体的調査手法（案）	・ 関連議案の審査時における抽出論点による集中審議。 ・ 市民との意見交換会における地区別テーマの振り返り。

討論テーマ	行政サービス提供機能のあり方と庁舎等整備の方向性について
具体的テーマ名	住民自治（まち・ひと・しごと創生総合戦略）
関係する政策分野（市総合計画）	41 行政運営
(1)テーマ設定の背景・課題認識	本市の最重要課題である少子化・人口減少対策など、危機感とスピード感をもって取り組まれているかを精査するとともに、「暮らし続けたいまち」の実現に向けた取組が適切にされているかを注視する必要がある。
(2)今期における調査目的・目標	ICTやデジタル技術等を活用した少子化・人口減少対策や雇用の創出等を通して、「暮らし続けたいまち」の実現に向けた取組がされているか、執行機関の取組を注視していく。
(3)具体的調査手法（案）	・ 関連議案の審査時における抽出論点による集中審議。

討論テーマ	行政サービス提供機能のあり方と庁舎等整備の方向性について
具体的テーマ名	ICTと未来社会
関係する政策分野（市総合計画）	41 行政運営
(1)テーマ設定の背景・課題認識	スマートシティなどの取組が市民の役に立つものになっているのか、デジタル化により市民福祉の向上につながっているかなどについて精査をしていく必要がある。
(2)今期における調査目的・目標	事業費の金額の妥当性などについて精査するとともに、スマートシティの取組が「地域にしごとをつくること」や「利便性の向上」につながっているかどうかについて、引き続き検証していく。
(3)具体的調査手法（案）	・ 関連議案の審査時における抽出論点による集中審議。 ・ 執行機関との勉強会の実施。

討論テーマ	行政サービス提供機能のあり方と庁舎等整備の方向性について
具体的テーマ名	まちの拠点
関係する政策分野（市総合計画）	39 まちの拠点
(1)テーマ設定の背景・課題認識	県立病院跡地の利活用や会津若松駅前基盤整備などの大型事業については、多額の起債を伴う事業のため、過去と同じような財政危機に陥ることがないように、財源確保や実質公債費比率の推移、後年度負担の平準化の面から取組内容を精査していく必要がある。特に、県立病院跡地利活用事業においては、公共施設等事業や今後の収益施設事業の動向について注視していく必要がある。
(2)今期における調査目的・目標	多額の起債を伴う事業であることから、過去と同じような財政危機に陥ることがないように、実質公債費比率の推移や後年度負担の平準化などについて継続して注視していく。特に、県立病院跡地利活用事業においては、事業スケジュールの進捗状況や市民意見の反映方法などについて精査していく。
(3)具体的調査手法（案）	・ 関連議案の審査時における抽出論点による集中審議。